



地域医療連携室だより

For you

ほうゆう

平成31年4月発行（第27号）

平成31年度 春号

1. 新年度のご挨拶

横浜ほうゆう病院院長の日野です。当院は平成13年4月に開院した認知症医療を専門とした精神科病院です。

さて、天皇陛下の生前退位によって5月1日に元号が「令和」に変わることが発表されました。目まぐるしく変わっていく時代に認知症診療もどんどん変化していますが、治療薬の開発はうまくいっていないようです。

認知症治療薬は現在、アルツハイマー病とレビー小体型認知症に適応のある4種類のみが使用されています。1998～2004年に臨床試験を行ったアルツハイマー病治療薬127剤のうち123剤が開発中止となっており、承認取得に至ったものはわずかこの4剤で、成功確率は3.1%でした。新薬の開発は現在も行われていますが、治験段階や治験にも至らず頓挫することが多くなっています。

アルツハイマー病は認知症高齢者の60%以上を占め、治療薬開発が急がれていますが、その成功確率は際立って低くなっています。理由としては、根本的な原因が分かっていないことや動物モデルの限界、また診断と進行を同定する有効なバイオマーカーがないことなどがあります。最近ではアルツハイマー病予防研究が進んでおり、今後、ワクチンなどによる予防法が開発されていくことが期待されています。

当院は製薬会社による治験に参加しています。ご興味がある方はお気軽にお尋ねください。開院19年目の当院も新しい時代を迎えますが、これまでと同様に患者さんとご家族に寄り添った医療を続けていきたいと思えます。

院長 日野 博昭

当院が開院して早18年。

私は当時、医療相談室（現 地域医療連携室）のPSW（精神保健福祉士）として病院立ち上げに携わりました。机ひとつない相談室から始まり、最初の入院相談、最初の入院受入、最初の退院。緊張の連続でした。その当時3名だったPSWも今や9名体制となり、その役割も多岐に亘ります。それは、入退院・外来・ケア・訪問等の各場面における直接的支援に留まらず、家族会の開催・各種講演会や連絡会への参加、認知症に関連する普及啓発活動の一環として講師を務めることもめずらしくありません。普段なかなか、注目されることの少ないPSWが、実は病院を支える大きな柱のひとつであると、昔のPSWである私の目に映るのは、決して曇り目ではないはずで

事務部長 前沢 恒一

2019年4月を迎えました。私も横浜ほうゆう病院の看護部長になり4年目になります。看護部の大きな目標は、地域の皆様に「選ばれる認知症に特化した病院」を目指したいと思っております。そのためにはまず、地域の方々に選んでいただけるように職員の質の向上や地域に密着した活動を図りたいと考えております。また、認知症初期集中支援事業も3年目になります。初期集中事業では、在宅で困っている認知症の方々に地域包括支援センター・区と病院で協働しながら支援活動をさせていただいております。その活動も充実を図り、地域の皆様から信頼される病院を目指して行きます。

看護部長 原科 美津枝

2. 入院について（よくある質問）

入院について寄せられる質問をまとめました。

詳しくは地域医療連携室（TEL045-360-8787）までお問い合わせ下さい。

Q 入院の対象について教えてください。

- A
- ・ 認知症の行動・心理症状（徘徊、介護への抵抗、暴言など）でお困りの方
 - ・ 上記の症状からご自宅や施設での生活にお困りの方
 - ・ ご家族の介護疲れ軽減の為の短期（2週間～1ヶ月程度）の入院希望の方 等です。

Q 専門医の先生はいますか？

A はい。

現在、精神科常勤医師は5名（日本認知症学会認定専門医、日本老年精神医学会認定専門医）その他、専門医等様々な資格を持った非常勤精神科医師が7名勤務しています。

Q 入院治療はどのように行っていますか？

- A
- 病棟には看護師・作業療法士・精神保健福祉士・介護福祉士・ケアワーカーが配置されています。医師の診断・治療方針に基づき、薬の調整、看護・ケアを通じて関わり方の工夫を見つけ出し、患者さん、ご家族が再び穏やかに安心した生活が送れるよう支援しています。

Q リハビリについて教えてください。

- A
- 各病棟に作業療法士が1名配置されており、患者さんの状態に合わせて個別や集団での作業療法を行っています。作業療法では患者さんの生活のしづらさの改善を図ります。身体機能訓練の他、製作・レクリエーション活動を通して患者さんの生活リズムや環境を整え、心身の残存機能の維持・改善も図っています。

Q 面会時間は決まっていますか？

A 当院では面会は原則24時間可能です。

防犯上21時～翌朝8時にお越しになる場合は必ず事前にご連絡下さい。

Q 入院中に他の医療機関を受診することはできますか？

- A
- 身体疾患が安定している方を入院の対象としております。その為、当院で治療が困難な疾病（骨折、急性疾患、緊急の手術や専門的な治療が必要な場合等）にかかられた場合は受診や転院をしていただくこととなります。眼科や歯科等の受診をご希望の場合はご相談下さい。

Q 入院期間は決まっていますか？

A はい。

入院時に医師と本人・ご家族と入院期間を設定します。患者さん1人1人には退院後生活環境相談員（病棟の精神保健福祉士）が選任され、在宅や施設等への退院に向けて関係機関と協力し、調整を図ります。

Q 退院先にはどのようなところがありますか？

A ご自宅への退院が難しい方は、介護保険施設として【認知症対応型グループホーム、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等】ご案内させていただきます。また、医療処置が必要な方は療養型病院等への転院をご相談させていただきます。

Q 入院費用はどのくらいかかりますか？

A 医療費、食事代、日用品レンタル、オムツ、その他雑費等含めて、

⇒医療費1割負担の方…18～19万円程度／月

医療費3割負担の方…25～26万円程度／月

※お持ちの限度額認定証等やオムツ、リースの使用状況により個人差がございます。

Q 生活保護受給中の方は入院が可能ですか？

A 可能です。相談時に生活保護受給中である旨をお伝え下さい。

Q お部屋代はどのくらいかかりますか？

A 保険外自己負担となります。

個室	10,800円（1日）	3床室	5,400円（1日）
2床室	7,560円（1日）	4床室	差額室料なし

Q 面会、外来患者用の駐車場は無料ですか？

A 25台全て無料です。

Q 関連施設を教えてください。

A 救急指定の湘南泉病院、療養型の新中川病院、介護老人保健施設阿久和鳳荘、本郷クリニック（内科）、ほうゆう介護支援事業所、ほうゆう訪問看護ステーション、ほうゆう保育園があり、いずれも旭・瀬谷・泉区内にございます。

Q 入院までの流れを教えてください。

A ①地域医療連携室（TEL045-360-8787）までご連絡下さい。

②認知症の症状、合併症、基本情報等お伺いします。

③診療情報提供書をご用意下さい。

④医師と相談し、日にちをご連絡いたします。



横浜ほうゆう病院 ～病棟風景～

病棟出入口



エレベーターホール



ナースステーション



デイルーム



有料室【個室・2床室・3床室】
 穏やかに治療・療養に専念ができますよう木目を基調としたお部屋となっています。

個室



【床数】

8床

【料金】

10,800円（1日）

2床室



【床数】

2床

【料金】

7,560円（1日）

3床室



【床数】

3床

【料金】

5,400円（1日）

4床室



【床数】

200床

【料金】

差額室料なし

横浜ほうゆう病院 ～風景～

外観



正面玄関



1階受付



外来待合室



外来診察室



面談室



地域医療連携室



薬局



デイケア サンアリス



3. H31 年度 家族講座・家族の集いのお知らせ

今年度も家族講座・家族のつどいを開催致します。当院に入院・通院されている方のご家族のみではなく、どなたでもご参加いただけます。ご予約なしで、当日参加も可能です。皆様のご参加 お待ちしております。

6月15日(土)「認知症の看護」 当院 看護部長 原科 美津枝
7月20日(土)「食事の工夫と脱水予防」 当院 管理栄養士 作業療法士
8月17日(土) 未定
9月21日(土) 介護保険施設 見学ツアー
10月19日(土)「日常生活の支援～排泄の介助～」
11月16日(土)「認知症の方の財産管理」
12月21日(土)「口から食べられなくなった時に考えること」

老人看護専門看護師 村山 由子
(内容は変更する場合がございます)

毎月第三土曜日 13時半～ 横浜ほうゆう病院 外来待合室にて開催致します。
講義後は、他のご家族と自由にお話ししていただく「家族の集い」を開催しております。

4. 看護フェスティバル・認知症ケア研修の合同開催

横浜ほうゆう病院内にて看護フェスティバル・認知症ケア研修を合同開催致します。

日時：5月11日(土) 10:00～11:50 (9:30 受付開始)
10:00～10:50 「認知症の基礎知識」 横浜ほうゆう病院 院長 日野博昭
11:00～11:50 「体験！ユマニチュード」 老人看護専門看護師 村山由子
場所：横浜ほうゆう病院 会議室
参加費：500円 お問い合わせ先：横浜ほうゆう病院 045-360-8787



看護フェスティバルでは、身長・体重・血圧測定やオムツ・介護食品のご案内・ロコモ体操・認知症の介護相談などをお受けしております。ぜひお立ち寄り下さい！！

5. ゴールデンウィークのお知らせ

H31年4月27日(土)～5月6日(月) 外来診療はお休みさせていただきます。
尚、4月27日(土)・30日(火)・5月1日(水)・2日(木)は、地域医療連携室の相談員がお電話にてご相談をお受けいたします。(9時～17時まで) お気軽にご相談下さい。

平成29年4月より横浜市認知症高齢者緊急対応事業を受託しました。
お問い合わせ、ご相談は各区の高齢・障害支援課にお願いいたします。

*次号(夏号)は7月頃の発行を予定しています。
本たよりについてのご意見・ご要望は地域医療連携室までお願い致します。



特定医療法人社団鵬友会
横浜ほうゆう病院

—認知症疾患専門病院—

〒241-0812 横浜市 旭区 金が谷 644-1
TEL: 045-360-8787(代) FAX: 045-360-8788
ホームページ: <http://www.hoyukai.org/yokohama-hoyu/>
地域医療連携室 担当: 今野 高橋